



共育型インターンシップ PRレポート

学生・企業・地域の成長へ

企業3社による学生インターンシップ体験

2021年度実録レポート

共育型インターンシップを取り入れてみませんか！

むつ市

目次

一般社団法人tsumuguについて	3
tsumuguの3本柱	4
共育型インターンシップとは	5
インターンシップの種類	6
共育型インターンシップの流れ	7
事例紹介（株式会社東京堂）	8
事例紹介（有限会社真心堂）	10
事例紹介（一般社団法人しもきたTABIあしすと）	12
インターンシップ受入にあたってのQ&A	14

本事業は、「共育型インターンシップ」におけるプロジェクト設計、学生募集説明会の開催、学生とのマッチング、インターンシップ生のフォローアップなどを一貫したプロジェクトとして遂行するため、むつ市が、一般社団法人tsumugu（ツムグ）へコーディネート業務委託して実施するものであります。

一般社団法人tsumuguは東通村を拠点に、地方創生に関わる様々な事業の**コーディネート**を行っている団体です。

主事業として、むつ下北地域を対象とした**大学生向けのインターンシップの設計**をしています。



代表理事

小寺 将太

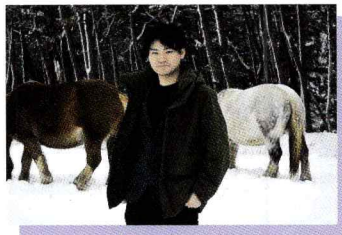
(こでら しょうた)

出身は北海道の札幌市。

弘前大学人文学部（現・人文社会科学部）卒業。同大学院修士課程修了。

修士課程に在学中、弘前大学「地（知）の拠点」事業の事務補佐員に採用され、共育型インターンシップの設計に従事する。

修士課程卒業後「青森県を挑戦する場に！」をモットーに一般社団法人tsumuguを立ち上げた。



コーディネーター

八月朔日 健太

(ほづみ けんた)

出身は宮城県の富谷市。

弘前大学理工学部（機械科学科医用システムコース）卒業。

代表の設計した共育型インターンシップに参加後、地域・企業・学生に対する想いに賛同し令和3年度に入社。

下北地域を中心に津軽三味線奏者・講師としても活動している。

大学生と共に地域・企業も挑戦していく！

1

共育型インターンシップ



大学生向けの共育型インターンシップをコーディネートしています。

主に、むつ下北地域の企業を対象とした1ヶ月間のインターンシップをコーディネートし、企業の新規事業や経営課題の解決提案を学生が実践しています。

若者と共に地域を盛り上げていく！

2

地域づくりの中間支援



青森県内の地域の中間支援事業を展開しています。青森県内の各地で地域共生社会や関係人口、移住定住支援など、地域と行政の間に入って、地域のみなさまをサポートしています。

青森県で活躍する地域創生人材を育成する！

3

地域創生人材育成事業



高校生・大学生を対象とした地域キャリア教育を展開しています。

高校生や大学生などの若者が地域で活躍していくために、若者でも参画できる地域づくりを通した人材育成を行っています。



共育型インターンシップとは

共育型インターンシップは、調査から提案・実施といった実践的な内容で、**学生と地域・企業の双方の成長**につながるインターンシップです。

地域・企業の主体的な活動を促進するとともに、学生の地域づくりへの一層の理解を実践を通して深め、**人材育成、社会貢献につながる**ことを目的とします。

従来の見学型や体験型のインターンシップとは違い、実際に学生が**新規事業や社内変革プロジェクトなどに参加**します。企業は挑戦したくてもできなかった事業等の実施ができ、学生は、社会に出た後に使うスキルを実践を通して学ぶことができます。

期間は**数週間から数ヶ月程度**と比較的中長期のもので、1ヶ月間住み込みで地域づくりに携わるものや、イベントの企画・運営、そして会社・観光の広報など様々なインターンシップがあります。

これまでtsumuguが携わってきた共育型インターンシップには**60名以上**の学生が参加し、プロジェクトに挑戦してきました。



また、tsumuguでは**製造業、宿泊業、サービス業、観光業など**多種多様な企業・団体のインターンシップのコーディネートを行ってきました。



さらに、令和3年度には参加した**インターンシップがきっかけで下北に就職・移住**した新卒の方もいます。



インターンシップの種類

	種類	特徴	学生の教育効果	企業のメリット	社会的意義
一般的な インターンシップ 数日～数週間程度	仕事理解型	職場や業務の見学と体験が中心	<ul style="list-style-type: none"> ・適性、志向の理解 ・働くことの理解 ・業界の理解 	企業・業界広報	学校から職場・社会への円滑な移行
	採用直結型	実際に一緒に働いてみてお互いを見極める採用活動の一環		採用マッチング	
共育型 インターンシップ 数週間～数ヶ月程度	業務補助型	普通のアルバイトでは経験できないような企業の業務に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力 	若者を活用した業務の推進	将来の産業界を担う人材の育成
	課題協働型	課題発見や企画立案に取り組む		若者の発想の活用 社内活性化	
	事業参画型	企業の一員として業務に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力 ・リーダーシップ 	若者を活用した新規事業などの推進	

社員ではないからこそその視点や担えない役割が企業に新しい価値をもたらす！

社員のモチベーションや人材育成スキルの向上！

何も知らない学生の視点を活かしたアイデアで、営業・販路の拡大！

効果

学生と企業双方の成長のみならず、地域の成長にもつながる！

従来一般的なインターンシップは短期型で仕事の理解や企業広報、採用マッチングなどを目的としたものが多いです。

一方でtsumuguがコーディネートする共育型インターンシップは中長期となっています。

中長期の参加期間により挑戦したくてもできなかった事業、ずっと温めていた計画、解決したくてもできなかった問題等など、本気のプロジェクトに学生と企業が一緒に取り組むことができるインターンシップです。

学生の新しい考え方と社員の経験をプロジェクトに活かし、企業・学生が共に成長することで、人材育成や地域の成長にもつながります。

共育型インターンシップの流れ



具体的な実施事項

1.

プロジェクト設計 受入体制の確認・整備

インターン生の力を存分に発揮させ、自社のメリットに結びつけるためには、準備が必要です。どんな仕事をどんな役割で担ってもらうか検討し、それをサポートする社内の体制について検討・準備するステップです。

- 学生が本気でやりたいと思うプロジェクトを設計する。
- インターン生の面倒を見る担当者を決める。
- 募集のための募集ツールを作成する。

2.

募集 書類選考と面接

採用やアルバイトの募集・選考とは違い、インターンでは、期間限定でパフォーマンスを発揮してもらう必要があります。担ってもらう役割を意識してもらうような質問を設定し、学生のやる気とポテンシャルを判断します。

- 募集ツールでインターン生の募集をする。
- 選考する。

3.

オリエンテーション

採用決定後、スムーズに仕事に取り組んでもらうために、期待する役割や担ってもらう仕事について、お互いに共有するステップです。契約や社内ルールもここで確認します。

- 共有シートを作成する。
- 必要書類（覚書・処遇概要書・誓約書）を作成する。

4.

インターン実施

設計や準備を十分にしても、最初から最後まで問題なく、大きな成果を出す学生はほとんどいません。必ずぶつかる壁。しかし、それは若者が大きく成長する機会でもあります。どうやって壁を乗り越えさせていくか、適宜適切なフォローが重要です。

- 担当社員が常にフォローする。
 - * 成功体験の仕掛けづくり。
 - * 適宜目標の確認と設定をする。
 - * 進捗状況を毎日確認する。

5.

修了研修

修了後の振り返りは、学生にとっては勿論ですが、受入企業にとっても大きな学びをもたらします。貴重な外部の意見や視点を得る場でもあり、社内人材教育の大きなノウハウにもなるからです。

- 修了報告会を実施する。
- 修了面談をする。
 - * 会社にとっての成長や、学生に対するの評価をきちんと伝える。

株式会社 東京堂



SINCE 1947
TOKYODO.GROUP



業 概 要

設立
業1947年 株式会社設立1988年

本社
つ市小川町1-6-1

代表者
表取締役社長 内田 征吾

資本金
000,000円

主要事業
オフィスソリューション事業
文化創造事業
ライフスタイル提案事業
公共施設運営受託事業

従業員数
名

株式会社東京堂は創業1947年のむつ市に本社がある会社です。「ニーズを超えた価値の提供による豊かな地域社会の創造」をミッションに掲げ、社会変化に合わせ業態変化を遂げながら現在のオフィスソリューション事業、文化創造事業、ライフスタイル提案事業、公共施設運営受託事業、と多角経営を行っています。

ライフスタイル提案では、ステーションリー・ライフスタイル雑貨のセレクトショップ「アンエイム」を運営しています。

現在のむつ市中央町の店舗に2005年に移転し2011年に一度リニューアルをしており今回、コンセプトの見直しを含め大幅リニューアルを行いました。



インターンシップスケジュール



8月
中旬

- 業務体験、店舗の魅力・情報調査
- Webショップコンセプト調査
- リニューアルオープンの補助

9月
中旬

- Webショップの企画、デザイン
- 商品の掲載

MISSION

見せる店舗から魅せる店舗へ！
リニューアル店舗のWebショップの構築と
デザインを行おう！

背景

- an aim のリニューアルを機に店舗のコンセプト、そして現在の店舗の在り方ともう一度向き合い、店舗でしか体験・体感できない魅力の発信とWebショップを使った商品の販売を行っていきたい！



店舗のリニューアルを1番近くで見ることが出来た！



商品発送の梱包選定にも携われて良い経験になった！



Q インターンシップに参加しようと思った理由やきっかけ

A an aimの「毎日使うものだから楽しさとこだわりを」という文章がホームページに掲載されており、それに共感したので参加しました。また、高級筆記具にも漠然とした興味があったからです。

Q インターンシップ先で実践・挑戦していたミッション

A コンセプト作成、そしてコンセプトに基づくキャッチコピーとwebショップの作成をしました。

Q インターンに参加して得た経験や学んだこと

A 独善的であってはならないということと、いろんな人がいるなということを改めて学びました。また、HTMLについて知ることができました。

Q 自分からみた企業の印象

A インターンシップは東京堂が初めてだったので比較はできませんが、簡単に言うと雰囲気がよく少数精鋭の会社といった印象でした！将来就職した時、こんな雰囲気の会社だったらいいなと思います！

Q 最後に一言！

A 自分の長所と短所を知り、また自分の小ささを知る良い機会になりました。今後、他のインターンシップにも参加したいと思います。東京堂のインターンシップに参加したおかげで有意義な時間を過ごすことができました！

有限会社 眞心堂



業概要

設立
業2005年4月

所在地
つ市田名部樋川目23-5

代表者
表取締役 高屋 龍一

資本金
100,000円

主要事業
葬儀事業
生花販売事業
一般貨物（霊柩）自動車運
送事業
一般乗用旅客自動車運送事
業、保険代理業
仏壇・仏具販売事業
葬儀用贈答品販売事業

従業員数
名（2020年7月現在）

有限会社眞心堂は青森県むつ市に2つの葬儀ホール（眞心堂はやかけホール、眞心堂ファミリーホール）を持つ葬儀社です。

2005年4月に創業し現在までニーズに合わせた様々な葬儀を行ってきました。葬儀の事前準備からアフターサポートまで一人一人の心に寄り添い故人と遺族の双方を支えケアすることで『命のバトン』を繋ぐお手伝いをしています。

また、眞心堂では葬儀以外にもご遺族の相談役になるなどして不安に寄り添っています。



インターンシップスケジュール



8月
中旬

- 通常業務体験
- 社内インタビューの実施
- 記事・動画制作の企画・提案
- 眞心堂の魅力と課題をまとめた資料を作成

9月
中旬

- 記事・動画の制作・編集
- 記事・動画を掲載・発信

MISSION

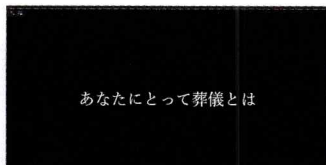
眞心堂で働く社員の本音が知りたい！
葬儀社で社内インタビューを通して
魅力をまとめ、PRせよ！

背景

- 新しい風を吹き込みたい、そして下北地域の活性化を目指したい！
- 地域内外の若者の採用を増やしていきたい！
- 今以上に地域の人々にとって身近な存在になりたい！



- PR動画2本完成・発信！
- 会社紹介記事制作！
- 課題・魅力をまとめた資料完成！
- 仕事への姿勢・向き合い方を学べる
インターンだった！



【真心堂PR動画第1弾】1ヶ月の学生インターン2名が取り組んだ動画です！大切な人・大事な人との最期のひとときに取りを誤りませんか？「明るいお葬式にした...

Q インターンシップに参加しようと思った理由やきっかけ

A 大学で（一社）tsumugu代表理事 小寺さんの講義を聞いて、真心堂という企業に興味を持ったことから参加しました。

Q インターンシップ先で実践・挑戦していたミッション

A

- ・社員が思っていることや会社の現状把握を行うこと。
- ・外部に向けてPR動画、会社紹介の記事を作成。
- ・社員さん、自分たちが見つけた課題の解決方法を考えてまとめること。

Q インターンに参加して得た経験や学んだこと

A

- ・社員みんな明るくて生き生きと仕事していて個人がみんな全体のことを考えて動いているのを見て組織について大事なことも学びました。
- ・葬儀はかけ離れたものではない身近な存在であるということを学びました。

Q 自分からみた企業の印象

A みんなやる気満々で、活動やイベントに対して喜んで参加していることに驚きました。活気に満ちた企業だと感じました。

Q 最後に一言！

A このインターンシップで変われるかどうかは自分次第。変われるかどうかはわかりませんが、絶対にいい経験になるからこそアンテナを張って沢山吸収するべきだなと思いました。

一般社団法人 しもきたTABIあしすと



しもきたTABIあしすと

企業概要

■設立
1968年8月
下北観光協議会設立
2015年10月
一般社団法人へ移行
2016年4月
「一般社団法人しもきたTABIあしすと」に法人名変更

■所在地
事務局 むつ市中央一丁目8-1
観光案内所 むつ市下北町4-3

■代表者
理事長 宮下宗一郎（むつ市長）

■主要事業
・ 下北地域観光の振興事業
・ 下北地域の観光・宿泊・交通の案内に関する事業
・ 下北地域についての旅行商品の企画・運営
・ 地域観光振興に関する研修会・ワークショップの企画・実施
・ ツアーガイド・ボランティアガイドの育成事業
・ 観光バス運行事業
・ 地域交流事業
・ 旅行業

■従業員数
事務局5名、観光案内所3名

しもきたTABIあしすととは下北半島6市町村広域にて着地型旅行商品の企画・販売等をはじめとする観光地域づくりに取り組んでいる団体です。下北半島を訪れた人が心に残るような時間を過ごせるようにという願いを込めて旅のアシストをしています。

絶景×美食をコンセプトに、下北ジオパークの魅力を感じられるダイニングイベント「下北ジオダイニング」の企画・運営や、ジオサイトを巡るガイドツアーの実施など、ここでしか体験できない各種旅行商品等の企画・運営をおこない、下北半島を訪れた人々に感動を届けています。



インターンシップスケジュール



8月
中旬

● 通常業務体験

● 動画制作の材料・情報集め

● 動画の撮影・編集

● SNS・HPで情報発信、動画の制作・発信

9月
中旬

● Youtubeの分析とまとめ

MISSION

国内外の人々に『Amazing!』と
叫んで欲しい！
YouTube・SNSなどを使って
下北半島の旅の魅力をもっとPRせよ！

背景

- コロナ収束後のことやこれからのオンラインを使った観光のためにも、国内外の下北ファン、そしてTABIあしすとの認知度を高めたい！
- 国内外の観光客に下北半島の魅力を伝えられるような動画を作成し、TABIあしすとのYouTubeアカウントを使って発信したい！



- Youtube動画 6 本投稿！
- 登録者 1 0 0 人達成！！
- 自分たちが作った動画で実際に訪れる人が増えてくれたら嬉しい！



https://www.youtube.com/channel/UCfhWSQNNR1Ruqq_g2QxmTew

公式チャンネル「一般社団法人しもきたTABIあしすと」で検索！

Q

インターンシップに参加しようと思った理由やきっかけ

A

以前下北地域でインターンシップを行った際にしもきたTABIあしと存在を知り、興味を持ったから。

Q

インターンシップ先で実践・挑戦していたミッション

A

インバウンド対策を視野に入れた映像制作。

Q

インターンに参加して得た経験や学んだこと

A

観光はただその地の魅力を発信するだけでなく、人々の心を動かしたり、未来に貢献したりするきっかけづくりができて感じました。

Q

自分からみた企業の印象

A

少人数なのにも関わらず様々な仕事を任せられ、さらに新しいことにも挑戦しているという印象です。

Q

最後に一言！

A

いろいろな人と出会ったり、実際に災害ボランティアに参加したりしたことはすごく貴重な体験でした。本当にありがとうございました！



Q アルバイトと何が違うの？

A インターン生は大学では学べない経験と成長を目的にやってきます。お金が目的ではなく、社長の実現したいことに共感してやってきます。アルバイトとは学生が企業に求めることも違ってきます。

Q サポートが大変そう・・・

A 確かにサポートとその都度のフォローが必要です。期間限定の社員として扱うことが大事です。指導により学生を軌道にのせ、小さな成功体験を積ませて自信をつけさせる。そして、責任と期待を負わせ、壁を越えるところまで導くことができれば、インターン生の成長が、そのまま会社の成長につながるはずで、人材育成のスキル向上にも役立ちます。

Q 中小企業に学生が来るの？

A 大企業は組織が大きすぎて意識の高い学生の期待に答えられる場になっていないことが多いのが実状です。逆に人手が不足している中小企業は学生が活躍できる場がたくさんあるというふうに考えることができます。

これまで「共育型インターンシップ」を推進して約5年が経過し、60名を超える多くの学生がむつ下北の地域・企業で挑戦してきました。

「共育型インターンシップ」は大学生たちの成長はもちろんですが、地域・企業の成長にもつながります。

新規事業の立ち上げや課題解決といった効果はもちろんですが、大学生という外部人材が地域内・社内に参画することによる「小さな変化」を見つけることができます。

その「小さな変化」が地域として、会社としての「大きな変革」につながっていきます。

ぜひ、地域としての大きな変革を生み出していくために、「共育型インターンシップ」に挑戦する企業の皆様をお待ちしています。



出典：経済産業省「成長するためのインターンシップ活用ガイド」（一部加筆修正）

P.5「インターンシップの種類」

P.6「共育型インターンシップの流れ」

出典：中小企業庁「平成26年度地域人材コーディネーター養成事業」

Sheet.1～Sheet.5

出典：青森COC+推進機構（青森ブロック）

「共育型インターンシップ学生と共に育つ企業のためのガイドブック」

P.14「インターンシップ受入にあたってのQ&A」



編集・発行

むつ市企画政策部市民連携課広聴連携グループ

〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目8番1号

TEL 0175-22-1111

renkei@city.mutsu.lg.jp

<https://www.city.mutsu.lg.jp>

発行 2022年3月